

わかりやすく、楽しく伝える沖縄県広報誌

美ら島 沖縄

ちゅらしまおきなわ

1

2026
vol.604
無料

変わらぬ風景に和む新春



マスコットに答えて当たる
読者
プレゼント
PRESENT



年頭のご挨拶

ハイサイ！グスーヨー イーソーグワチデービル

(新年、明けましておめでとうございます。)

県民の皆さまにおかれましては、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、戦後80年の節目に、戦後80周年平和祈念事業として40事業に全庁体制で取り組み、次世代を担う若者をはじめ、多くの県民の「平和を考える機会」を創出するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に発信しました。また、沖縄県とハワイ州の姉妹提携40周年及びハワイ、カナダの沖縄移民125周年を迎え、現地での記念行事、文化交流を通じ、沖縄県とハワイ、カナダの絆を再確認する機会となりました。

加えて、8月に開催された第107回全国高等学校野球選手権大会において、沖縄尚学高等学校が優勝し、県民に大きな誇りと勇気と希望をもたらすなど、本県にとって、大変意義深い一年となりました。

一方で、台風第8号による大東島地方の記録的な大雨や、導水管破損による断水など、県民生活に深刻な影響を及ぼす事案も発生し、県は国や市町村、関係機関と連携し、一日も早い復旧に向け取り組みました。

令和8年は、沖縄の象徴である首里城正殿がいよいよ完成いたします。

正殿の完成は、首里城復興の大きな節目となることから、首里城に象徴される歴史・文化の価値を次世代へ継承し、国内外に向けて沖縄の魅力を発信するなど、首里城の復旧・復興に関する取組を行います。

沖縄経済は、観光需要が好調で、大型テーマパークの開業といった明るい材料はある一方で、長引く物価高や人手不足等により、県民生活や事業活動は依然として厳しい状況にあり、県内各産業における賃上げや労働生産性向上に向けた取組が一層重要となっています。県経済の成長と自立型経済の構築に向け、全産業におけるDXの推進や県内企業への賃上げ支援など、県内企業の「稼ぐ力」の強化に向けた各種施策を推進します。

人口減少対策については、本県の総人口は、今後、少子高齢化等による人口減少が見込まれていることから、少子化対策等により人口減少のペースを緩和させつつ、「稼ぐ力」の強化など持続可能な社会が成り立つための取組を推進します。特に、小規模離島においては、人口減少等により地域社会の存続が危ぶまれる深刻な状況となっていることから、より一層の対策を講じます。

こども・子育て対策については、全国と比較して厳しい状況にあるこどもの貧困問題の早急な解消に向けた取組を積極的に推進するとともに、誰もが安心してこどもを産み育てることができ、環境を整備するなど、社会の一番の宝であるこどもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、こども若者の意見表明や社会参画など、こども施策を力強く推進します。

域外交については、アジア・太平洋地域の平和構築と相互発展に貢献するため、国連等の国際機関や、北東アジア地域自治体連合などの国際的な自治体組織のネットワークとの連携により、さまざまな分野における取組を展開します。

地域公共交通の充実については、県民生活の質の向上、地域経済活性化などの目的を達成するため、公共交通の将来像を県民と描き、その実現に必要な取組を検討する「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」の策定に、まちづくり、基地跡地利用の観点も踏まえながら取り組みます。

基地問題については、2013年に政府に提出した建白書や、2022年に取りまとめた新たな建議書に込められた県民の願いを実現するため、辺野古新基地建設反対を貫くとともに、普天間飛行場の危険性除去や県外・国外移設等の米軍基地負担の在り方、米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本改定等を日米政府及び全国に訴え続けるとともに、普天間飛行場の危険性や米軍基地から派生する環境問題、多発する米軍関係の事件・事故など沖縄の正確な情報を発信します。

今年は、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の折り返しを迎える大切な一年となります。平和で誇りある豊かさ「新時代沖縄」を更にその先へ進め、誰もが輝き、誰もが尊重され、幸福が真に実感できる沖縄を目指してまいります。

県民の皆さまにおかれましては、引き続き県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして明るく良い年となりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

クトウシン ユタサルグトウ ウニゲーサビラ

(今年もよろしく願っています。)

令和八年一月一日

沖縄県知事 玉城 デニー

11月 4 デニー知事トークキャラバン in 大東文化大学

玉城知事は、東京都で開催した「デニー知事トークキャラバン in 大東文化大学」に登壇しました。トークキャラバンは、普天間飛行場の一日も早い危険性の除去、辺野古新基地建設および日米地位協定の問題について広く周知し、解決につながる国民的議論の機運醸成を図ることを目的



会場の様子

に、全国各地で開催しています。会場の約200名の方々に、「自分ごと」として考えることの大切さを呼びかけました。

11月 5 尼崎市立尼崎高等学校 吹奏楽部 感謝状贈呈式

玉城知事は、兵庫県尼崎市立尼崎高等学校を訪れ、全国高等学校野球選手権大会および選抜高等学校野球大会において、沖縄県代表校を長きにわたり、心のこもった演奏で応援し、甲子園での活躍に大きく貢献したとして、同校吹奏楽部に感謝状を贈呈しました。



吹奏楽部生徒代表に感謝状を授与する玉城知事

贈呈式では吹奏楽部による歓迎の演奏で盛大に迎えられ、知事からは、これまでの友情応援に対し、心からのお礼を直接伝えるとともに、引き続き県代表校に対する友情応援をお願いしました。

11月 13 「ResorTech EXPO 2025 in Okinawa」の開催

最新のIT技術やDXが集まる「ResorTech EXPO 2025 in Okinawa」が沖縄サントリーアリーナで開催されました。

大城副知事はオープニングセレモニーで「本EXPOがアジアと日本、そして世界を結び、新たなビジネス交流とイノベーション創出の場にな



オープニングセレモニーの様子

ることを期待する」と述べました。来場者数・参加企業数とも過去最高を記録し、県のDX推進への機運を高める、重要な一助となりました。

11月 18 沖縄県の国民健康保険事業に対する財政支援等を求める要請

池田副知事は国保連合会、市長会、町村会、市議会議長会、北部医療財団、北部市町村会の関係団体とともに厚生労働省を訪れ、沖縄県の市町村国保における前期高齢者交付金が少ないことや子どもの加入割合が高いことなどの特殊事情に配慮した財政支援を求めました。また、北部



厚生労働省 仁木副大臣に要請書を手交

医療圏唯一の基幹病院となる公立沖縄北部医療センターの整備などについて、所要の財政措置を求めるとともに、離島診療所への医師派遣をはじめとする沖縄県の地理的特殊性を考慮した医師確保政策を訴えました。

- 02 年頭のご挨拶
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：「沖縄県」この一年
- 06 戦後80年 記憶と未来のタイムマシン
[第9回 学校給食編]
- 08 沖縄県子ども・若者計画
沖縄県子ども若者みらい相談プラザ ソラエ sorae
読者の声
- 09 県の動き1
総合型地域スポーツクラブを知ろう
県の動き2
大切な農地を貸してください！
- 10 Fun Fan Local [vol.9 浦添市]
アンケート&プレゼント
- 11 県の動き3
沖縄県が認証する「琉球料理が味わえる店」
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4
あなたの空き家、地域の未来につなげませんか？
広報課からのお知らせ

今月の表紙

「変わらぬ風景に和む新春」

寒緋桜の木々にメジロがとまる姿は沖縄の新春の風物詩。濃いピンク、鮮やかな黄緑色が沖縄の冬空を彩ります。
(撮影：白木 裕紀子)



人口・世帯の動き (2025年11月1日現在)

 総人口	 世帯数
146万7,394人	66万1,103世帯
※前月比940人増加	※前月比1,083世帯増加

沖縄県庁広報課

美ら島沖縄



公式LINE
@okinawa-government



公式X
@okinawa_pref



Instagram
@churashima-okinawa_official

「美ら島沖縄」電子Book版とバックナンバーは、県ホームページでご覧いただけます。



【美ら島沖縄の設置場所】

美ら島沖縄 

県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



「沖縄県」この一年

2025年は戦後80年の節目にあたり、県は平和祈念事業として40の取り組みを全庁で推進し、若者をはじめ多くの県民の皆さまと共に、平和を願う沖縄の思いを国内外へ発信しました。また、沖縄尚学高等学校の夏の甲子園優勝は、県民に大きな誇りと勇気を与えてくれました。

一方で、台風第8号による大東島地方の記録的な大雨、導水管破損による断水など、県民生活に深刻な影響を及ぼす事案も発生し、県は一日も早い復旧に向け取り組みました。



伊良部大橋は開通から10周年を迎え、教育、医療、福祉などの生活環境の向上、産業基盤の整備や観光資源の開発を支援するなど、宮古圏域の振興に大きく寄与しています。



沖縄県差別のない社会づくり条例等の理念に基づき、個人の尊厳と多様性が尊重される社会の実現を目指して「沖縄県パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を開始しました。

左:オキちゃん 右:ムク



沖縄国際海洋博覧会以来50年にわたり、本県の観光振興に貢献しているミナミバンドウイルカの「オキちゃん」と「ムク」に、沖縄県観光特別賞を授与しました。

ウリ科等果実に寄生する害虫「セグロウリミバエ」が侵入し、本島地域を中心に拡大していることから、農林水産省が緊急防除を開始しました。



ロサンゼルス・ドジャースの監督として、チームをMLB2024年ワールドシリーズ優勝に導いたデーブ・ロバーツ氏に、沖縄県県民栄誉賞を授与しました。



天皇后両陛下下、愛子内親王殿下がご来県され、沖縄国際海洋博覧会50周年記念事業企画展をご覧になったほか、沖縄戦没者墓苑でのご供花、対馬丸記念館、首里城などの県内事情をご視察されました。

4月

- 1日 ●文化観光スポーツ部スポーツ振興課に国スポ・全スポ準備室を設置
- 1日 ●教育DX推進課の設置
- 1日 ●学校給食費無償化支援事業が開始。市町村立中学校給食費が半額以下、県立中学校・特別支援学校・中学校部は無償化を実現
- 14日 ●セグロウリミバエの緊急防除を農林水産省が開始 **3**
- 15日 ●知事行政視察（渡嘉敷村）（4/16）

3月

- 10日 ●照屋義実副知事退任 大城肇副知事就任（3/11）
- 14日 ●文化芸術の振興を図ることを目的として、沖縄県文化芸術振興基金を設置
- 22日 ●沖縄県障害者芸術文化活動支援センター主催のキックオフイベントを開催
- 27日 ●第12回県民意識調査（くらしについてのアンケート）結果（令和6年9月調査）の公表
- 28日 ●「沖縄県パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を開始 **2**
- 31日 ●こども・若者計画（未来のおきなわっこプラン）策定

2月

- 4日 ●普天間飛行場周辺で行った有機フッ素化合物汚染源調査に係る専門家会議において、「汚染源は同飛行場内である蓋然性が更に高まった」と総括された

1月

- 18日 ●「おきなわ花と食のフェスティバル2025」を開催（1/19）
- 27日 ●朝日大学ほか19校と就職支援協定を締結
- 31日 ●伊良部大橋開通10周年 **1**

10月

- 1日 ●マツチングシステム「おきなわ結マツチ」運用開始
- 11日 ●沖縄ハワイ姉妹提携40周年記念式典・祝賀会を開催。ハワイ州知事ほか、100名以上が参加
- 11日 ●「沖縄県とハワイ州のクリーンエネルギー協力に関する覚書」調印式 **12**
- 14日 ●沖縄尚学高等学校野球部に沖縄県県民栄誉賞を授与 **13**
- 22日 ●沖縄県の資源管理水産物認証制度「みらいゆまーる」の運用開始
- 23日 ●国連特別報告者マルコス・A・オレリャーナ氏が、報告書「軍事活動と有害物質」を公表、国連総会で沖縄のPFAS問題などの声明を発表

9月

- 1日 ●「沖縄県犯罪被害者等支援ワンストップサービスセンター」開始
- 1日 ●障害者雇用に積極的に取り組む事業所や長年勤務に精励された障害者へ県知事賞を表彰
- 5日 ●ラグザス Presents 第32回 WBSU 18野球ワールドカップ（9/14）
- 18日 ●「沖縄県宿泊税条例」を制定

8月

- 9日 ●大阪・関西万博で沖縄空手を中心としたステージ公演を実施 **9**
- 12日 ●琉球大学病院地域医療教育センターに関する協定締結 **10**
- 18日 ●知事行政視察及び被災現場視察（南大東村） **11**
- 23日 ●沖縄尚学高等学校、夏の甲子園優勝
- 28日 ●玉城知事がハワイオキナワンフェスティバルなどに参加（9/2）





12

島しょ地域における持続可能な社会を目指し、クリーンエネルギー導入拡大に関する対話の促進や技術交流を図るため、「沖縄県とハワイ州のクリーンエネルギー協力に関する覚書」を更新しました。



13

第107回全国高等学校野球選手権大会で優勝した沖縄尚学高等学校野球部に沖縄県民栄誉賞を授与。また、同校の比嘉公也監督に沖縄県スポーツ指導者特別賞を授与したほか、市立尼崎高等学校吹奏楽部の羽地総監督に感謝状を贈呈しました。



16

高円宮妃殿下のご臨席のもと、全国の食生活改善推進員が一堂に会し、事例研究発表、表彰式典などを那覇市で開催し、県の食文化や健康づくり活動について県内外に発信しました。



15

あなたの空き家、地域の未来につなげませんか？ 離島・過疎地域に空き家をお持ちの方を対象に、電話や面談、メールで空き家の管理・活用等の相談を受け付けています。



14

安全・安心なサイバー空間の実現に向けて、県警察とともに取り組むことを目的とし、沖縄県警察サイバーセキュリティボランティアを新たに立ち上げました。

公立沖縄北部医療センターの医師確保や研修体制の充実を図る「琉球大学病院地域医療教育センター」の取組を進めるため、沖縄県、琉球大学、沖縄県北部医療組合、沖縄県北部医療財団の4者で協定を締結しました。

10



11

台風8号の影響を受けた各現場について、村長から説明を受けながら被災状況を確認したほか、今後の復旧対応策等について、村長や区長の皆さまと意見交換を行いました。

米国カリフォルニア州ロサンゼルスにて、海外では初の「北米沖縄県人会サミット」を開催。在北米の海外県人会から県の交流事業に対する要望を受け取るとともに、沖縄県の伝統芸能を通して、現地県人会と交流を行いました。

7



8

沖縄戦で犠牲となった戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う「沖縄のこころ」を発信するため、「戦後80年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。



9

大阪・関西万博で沖縄空手を中心に琉球舞踊やエイサーなどの沖縄の伝統文化公演を実施し、玉城知事も空手の型演武や板割りに出演しました。

7月

- 1日 ●「沖縄県動物の愛護及び管理に関する条例」を施行
- 18日 ●北部テーマパーク開業に伴う交通渋滞対策
- 22日 ●大城副知事がダバオ慰霊祭参列
- 23日 ●ちゅらポリス防犯広報官の任命（県警察初の任命）
- 31日 ●セグロウリミバエ早期終息に向けた不妊虫航空放飼を開始

6月

- 1日 ●第67回水道週間行事「おきなわみずまつり」の開催
- 4日 ●天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下が本県へ行幸啓（6/5）
- 6日 ●琉球ゴールデンキングスに沖縄県スポーツ栄光賞を授与
- 14日 ●デーブ・ロバーツ監督に沖縄県民栄誉賞を授与
- 14日 ●北米沖縄県人会サミットの開催（6/15）
- 20日 ●「沖縄県史ビジュアル版14 沖縄戦」刊行
- 23日 ●戦後80年沖縄全戦没者追悼式
- 24日 ●国連事務次長及び被団協代表委員を沖縄に招へい。沖縄全戦没者追悼式へのご参列、シンポジウム「戦後80年の沖縄から国際平和を考える」を開催

5月

- 5日 ●海洋博公園で飼育するミニバードウィルカの「オキちゃん」ムク」へ沖縄県観光特別賞を授与
- 25日 ●大城副知事が南洋群島慰霊祭参列

12月

- 1日 ●民生委員・児童委員の一斉改選
- 21日 ●公民連携手法による那覇浄化センター消化ガス発電設備整備の基本契約締結
- 21日 ●「離島フェア2025」の開催（11/23）
- 19日 ●「戦後80年沖縄の工芸企画展」の開催（12/25）
- 15日 ●麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動九州・沖縄地区大会
- 13日 ●令和7年度九州・山口生涯現役社会推進大会沖縄県大会の開催
- 12日 ●九州・沖縄農業士研究会の開催
- 12日 ●P・F・O・S等対策に係る知事要請
- 7日 ●令和7年度全国食生活改善大会・第55回全国食生活改善推進員協議会大会の開催
- 4日 ●「おきなわ離島・過疎地域空き家活用相談窓口」開設
- 4日 ●官民連携プラットフォーム事業「気づきワーキング」(ツドレバ)の開催
- 30日 ●首里城正殿が姿をあらわす
- 27日 ●第166回九州地方知事会・第48回九州地域戦略会議の沖縄開催
- 25日 ●「空手の日」制定20周年奉納演武記念演武祭の開催（10/26）
- 24日 ●「室川貝塚出土品」と「阿波連浦貝塚出土品」を県指定有形文化財（考古資料）に指定（「沖縄陶器」を県指定無形文化財（工芸技術）に指定し、保持者1名を認定）
- 24日 ●「第49回沖縄の産業まつり」の開催（10/26）
- 23日 ●沖縄県警察サイバーセキュリティボランティア委嘱状交付式

11月

- 23日 ●沖縄県警察サイバーセキュリティボランティア委嘱状交付式
- 24日 ●「第49回沖縄の産業まつり」の開催（10/26）
- 24日 ●「室川貝塚出土品」と「阿波連浦貝塚出土品」を県指定有形文化財（考古資料）に指定（「沖縄陶器」を県指定無形文化財（工芸技術）に指定し、保持者1名を認定）
- 25日 ●「空手の日」制定20周年奉納演武記念演武祭の開催（10/26）
- 27日 ●第166回九州地方知事会・第48回九州地域戦略会議の沖縄開催
- 30日 ●首里城正殿が姿をあらわす



タイムマシーン



第9回 学校給食編

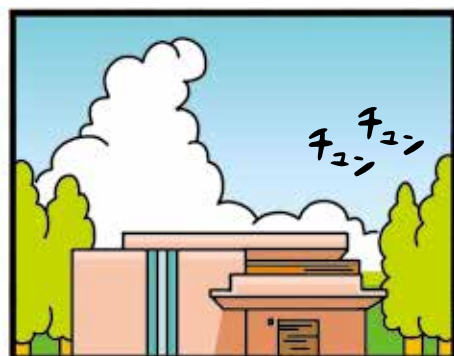
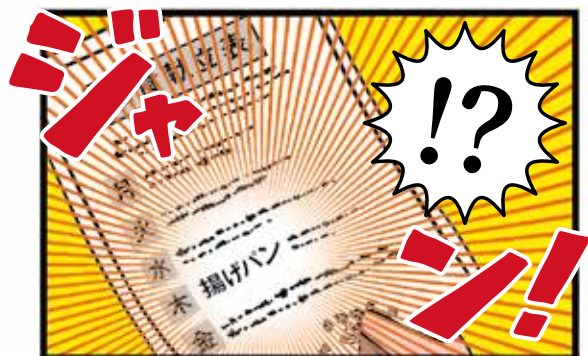
タマ

ヘイワ

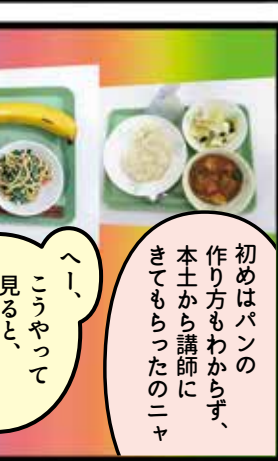
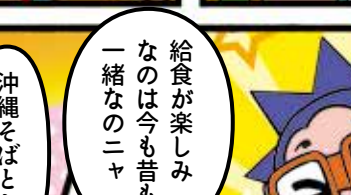
イリオモテヤマネコ。
特殊な機器を取り
付けると、なんでも
タイムマシンに変え
られる。



小学4年生。
平和主義者。
パイン好き。



★子どもたちの健康を考えて作られた学校給食はおいしくて栄養満点。



「学校給食週間」

1月24日から30日は、全国の「学校給食週間」です。学校給食の役割は、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることです。学校給食を通して、偏った栄養摂取や肥満を防止し、健康的な食生活を意識することが望まれます。



学校生活の中で子どもたちが最も楽しみにしているとも言える「給食」。明治時代に始まり、戦争で一時的に中断したものの、戦後はアメリカの救済団体によるミルクの寄贈により再開しました。栄養面だけでなく、近年は地産地消も取り入れた献立が考えられています。

戦後最初の学校給食「ララ物資」とは？

戦争で中断した給食が再開したのは、食糧不足から子ども達を救済するという要請にアジア救済連盟「ララ（略称）」が応じたことからでした。最初は干肉と脱脂粉乳の配布が行われたものの、学校側に施設も設備もないため、脱脂粉乳の粉を紙に分けて、そのままめたり家に持ち帰ることもあり、学校側も試行錯誤だったといえます。

厳しい食糧事情の中で、「給食が効果的に実施されれば物資を援助する」との申し出がアメリカの別団体からあり、ミルク給食を試験的に行ったところ良好な結果が得られたことから「ララ物資」に代わる「リバック物資」が支給されるようになりました。脱脂粉乳と小麦粉を中心に、油脂やコーンミル、米なども追加され、これらの物資は給食だけでなく、生活困窮者などにも配られました。

最初の給食は
ミルクだったんだね！



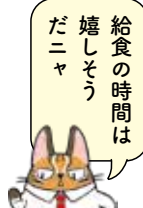
1960年に制定された「学校給食法」とは？

戦後の混乱の中でミルク給食がスタートし、パン給食へ移行する中で施設や資金、規程を整備する必要が出てきました。そこで、1960年に琉球政府による「学校給食法」が制定され、そのあり方がようやく規定されました。

法の整備は進みましたが、提供するためのパンの作り方が分からず、現場である学校では随分と困ったようです。本土から講師を招いてパン作り講座が開かれたほか、食べ方についても「パンはちぎって食べる」「パンとミルクは交互にいただく」など、指導があった記録が残っています。※日本本土では1954年に学校給食法を制定



学校給食用のメリケン粉（小麦粉）などを調査（1960年8月撮影 沖縄県公文書館所蔵）



給食の時間は
嬉しそう
だニヤ



神原小学校の給食の様子（1966年4月撮影 沖縄県公文書館所蔵）

給食メニューは どんな風にな変わった？

戦後、ミルクからスタートした給食は、時代とともに献立が徐々に充実していきました。（公財）沖縄県学校給食会が発表する「学校給食の移り変わり」を見ると、昭和30年代後半から段々と品数が増え、パンとミルクにシチューや果物、サラダなどが取り入れられました。その後は、今も子ども達に人気のチャーハンやカレーなどがメニューに登場します。平成に入ると郷土料理である沖縄そばなども提供されるようになり、給食は子ども達に必要な栄養だけでなく、地産地消も取り入れられるなど、正しい知識と望ましい食習慣を学ぶ機会であることを考えた献立になっています。



近年の給食で提供された献立。まぐろとアサの炊き込みご飯、豚肉とパイアの醤油炒め、スーナー（白和え）、おかちと美らキャロットケーキ（公財）沖縄県学校給食会提供



沖縄県子ども若者みらい 相談プラザ sorae

**学校や仕事、家族のこと
で悩んでいませんか？**

ソラエは、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者（0歳からおおむね39歳まで）を支援するために県が設置する「子ども・若者総合相談センター」です。

不登校、ひきこもり、ニートなど生活の中で困りごとを抱えている子ども・若者本人やそのご家族などからのさまざまな悩みに対応するワンストップの総合相談窓口とし

て、関係機関と連携して、自立に向けた支援（必要な情報の提供および助言など）を行っています。

また、教育機関や支援機関などからのご相談にも積極的に応じています。

「どこに相談したらいいかわからない」そんな時はソラエにお電話ください。

相談者の皆さまへ

「学校に行けない…」「家の外にでるのがつらい…」「親との関係で悩んでいる…」人

間関係が苦手…」「将来どうしていいかわからない…」

悩みごとを抱えている方とそのご家族のために、相談員があなたのお話をしっかりと聞き、共に考え新しい一歩を踏み出すお手伝いをします。

相談内容については秘密を厳守し、相談者ご本人の同意なく、ご家族や学校へ連絡することはありませので、安心してご相談ください。

支援者の皆さまへ

困りごとを抱えることも・若者の支援において、本人あるいは保護者へどのように対応すればいいのかわからないのか、どの機関と連携したらいいのかなど判断に迷うことがあるかと思ひます。

ソラエでは、教育機関や支援機関からのご相談にも対応していますので、お気軽にソラエにお問い合わせください。当事者の個人情報不要です。状況に応じて、ソラエによる支援、または他の支援機関の紹介など、丁寧に対応します。

……………問い合わせ先……………

■ 沖縄県子ども若者みらい 相談プラザ sorae



ホームページ



中部・南部・離島 圏域在住の方

■ sorae なは

〒903-0804

沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1

沖縄県総合福祉センター西棟3階

電話：098-943-5335

開所時間：10:00～18:00

休所日：日・月・祝日・年末年始



北部※圏域在住の方

※伊江村、伊平屋村、伊是名村含む

■ sorae なご

〒905-0013

沖縄県名護市城2-12-3 渡具知ペイントビル102号

電話：0980-43-8300

開所時間：10:00～17:00

休所日：土・日・祝日・年末年始



問い合わせ

子ども若者政策課

電話：098-866-2110

読者の声（美ら島沖縄11月号）

表紙

● 今回のブーゲンビリアの赤紫は、庭先に植えられるなど街のあちこちに見かけました。まさに『沖縄色』ですね。

特集：11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」！

● 11月はオレンジリボンの月ということ始めて知りました。また、沖縄県の子供は心理的虐待が全国より多いことに驚きがありました。

戦後80年記憶と未来のタイムマシン

● 昔の写真で当時の雰囲気を感じられ、現在との違いを楽しめました。

Fun Fan Local「名護市」

● 名護市在住ですが、記載内容の9割は知らないことでした。名護についてもっと知りたいと思いましたし、紹介されていた場所にも行ってみたいと思いました。

県の動き4・ハピアニおきなわ譲渡会のお知らせ

● 最近15年飼っていた保護犬が亡くなりました。どの動物も最後まで幸せに暮らして欲しいです。

沖縄県の地域外交について

● 今回のハワイ姉妹提携について、ハワイと沖縄は似たような魅力（自然など）があるのもつとまうことができることがあるのかもしれないと感じました。

今後取り上げてほしい内容

● 南城市特集を期待しています。

「美ら島沖縄」のバックナンバーは、県のホームページでご覧いただけます。



美ら島沖縄

「美ら島沖縄」のアンケートに回答いただいた内容から一部抜粋して掲載しています。アンケートについては、10ページをご覧ください。

